

用語解説

あ行

用語	解説	ページ
Is 値	Seismic Index of Structure の略で、建物の耐震性能を表すための指標。0.3 を下回ると、震度 6～7 程度の地震によって倒壊(崩壊)する危険性が高い。	43
IoT	Internet of Things の略で「モノのインターネット」と解され、あらゆるものがインターネットを経由して通信することを指す。	7・38
ICT	Information and Communication Technology の略で、IT(情報技術)をコミュニケーションの手段として活用する情報通信技術。	22・23 39
新しい生活様式	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、厚生労働省がこれからの日常生活において取り入れていただきたい実践例を示したもの。	35・42 43
亜炭鉱廃坑跡	石炭の中で最も石灰化度が低い亜炭を採掘していた炭鉱の跡。明治期や第二次世界大戦中には家庭や産業のエネルギー源として用いられたが、石炭から石油へのエネルギー革命によって衰退し、本町では昭和 43(1968)年にすべての亜炭鉱が閉山した。その後、亜炭鉱廃坑跡を起因とする陥没事故などが発生しており、対策を進めている。	37・40 41
アプリ	アプリケーションの略で、スマートフォンなどで作業をする際に起動するソフトウェア全般。	30・37
AI	Artificial Intelligence の略で「人工知能」を指し、人間の知的能力をコンピュータ上で実現するもの。	7
ALT	Assistant Language Teacher の略で、外国語を母国語とする外国語指導助手を指す。学校の語学の授業における発音や国際理解の向上を目的とする。	23
インフルエンサー	世間に対し、その消費行動などにおいて大きな影響力を持った人材。	37
SNS	Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の略で、web 上で登録された利用者同士が交流し、社会的な繋がりを構築するサービスのこと。	25・36 37
SDGs	Sustainable Development Goals の略で「持続可能な開発目標」を指す。平成27(2015)年9月の国連サミットで採択され、17の目標と169のターゲットで構成しており、国連加盟193か国が平成28(2016)年から令和12(2030)年の15年間でこれらの目標達成を掲げている。	8・13 20

か行

用語	解説	ページ
可児才蔵	現在の御嵩町出身と伝えられている戦国武将で、関ヶ原の戦いでは笹の枝を背中に立てて戦い、17人の敵の首を討った際には笹を耳や鼻の穴に入れ、自分の手柄であることを示し、このことから「笹の才蔵」の異名をとったと伝えられている。その生涯は明らかになっていない部分も多く、全容は謎に包まれている。	45
環境モデル都市	持続可能な低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市や地域。本町は平成25(2013)年3月に国により選定された。	13・20 21・45
関係人口	「観光以上移住未満」と例えられる、居住はしていないが特定の地域に継続的に多様な形でかかわる人のことを指す。地域外の人材である関係人口が地域づくりの担い手として活躍することが期待されている。	8
GIGA スクール構想	文部科学省が提唱する計画で、学校内の通信ネットワークと児童生徒1人1台の端末の整備によって子供たちを誰一人取り残すことなく、個人の資質を一層育成するための教育 ICT 環境を実現するための計画。	23
基幹上水道管路	水源から浄水場まで水を送る導水管、浄水場から配水池までの送水管、配水池から各家庭に水を送る水道管の主な幹線。	46
基幹相談支援センター	障がいのある方やその家族の方の最初の相談窓口として、助言や情報提供、関係機関との調整などを行う地域の相談支援の中核的な役割を担う機関。	28
企業との協働による森林づくり協定	企業の社会貢献活動の一環として、本町が所有する森林において森林整備等を行うことを目的として本町と企業、岐阜県等と締結する協定。	18
共助	災害時などにおける被害を軽減する減災の取組の考え方のひとつで、地域で助け合って避難を行ったり、消防活動を行うなど、地域で助け合うこと。	14・26 27・31
行政計画	行政機関が達成すべき目標を定め、かつ、目標を実現するために必要とされる諸手段を総合的に定めたもの。地方自治体においては、法律によって定めなければならないものや、独自に策定する計画がある。	5
協働のまちづくり	共通の目的を持った人が、それぞれの役割と責務を自覚し、相互に補完し協力することにより、地域や町にかかわる様々な課題解決を図ること。	9・10 13・14
公助	災害時などにおける被害を軽減する減災の取組の考え方のひとつで、市町村や消防、警察が行う救助活動や物資の提供などの公的な支援をいう。	14

子育て世代包括支援センター	保健師などの専門スタッフが、妊娠、出産、子育て等に関して一元的に相談を受けたり、関係機関との連絡調整などを行う窓口で、母子保健法に基づき市町村が設置する。	29
子ども110番の家	子どもが不安を感じて通学路周辺の民家、店などに駆け込んだ時に子どもを保護し、警察、学校、家庭等に連絡してもらう制度。	30
コミュニティ	英語で「共同体」や「地域社会」を意味し、インターネットなどを通じて特定の話題について交流する仲間などの意味も含まれるが、本計画においては、自治会などの一定のエリアにおける地縁型活動団体を指す。	13・21 26
コミュニティバス	道路運送法に規定された乗合バス的一种で、交通空白地域の解消、高齢者の外出支援などを目的とした公共交通。	47
コミンカホテル四季の家	津橋地内に開館した古民家をリノベーション(大規模な改修)した宿泊施設で、農業体験プログラムなども展開している。	19

さ行

用語	解説	ページ
参加のまちづくり	行政施策において、その決定や立案、具体的な取組などにおいて住民の意見や提案を反映することや、住民が直接役割を担い、協力を得て進めること。	9・14
自主運行バス	採算性などの面でバス、タクシー事業者によって十分な運送サービスが提供されない地域で、市町村などによって有償運行されるバス。本町では、ふれあいバス及びふれあい予約バスを運行している。	46
自主防災組織	火災や地震等による被害を最小限とするために、各自治会等の単位で組織される団体。	30・31 41
自助	災害時などにおける被害を軽減する減災の取組の考え方のひとつで、あらかじめ災害に備え対策をしておくこと。	14・26
史跡	先史時代から現代まで、人類の活動を示す痕跡を認めうる、由緒のある場所。	45
児童公園	町内の自治会などが管理を行っている公園を指す。	29
シビックプライド	まちへの誇り、愛着を持ち、まちのために自ら積極的に関わっていかうとする気持ち。	36
社会体育施設	本計画においては、本町が設置した体育館、水泳プール、運動場等のスポーツ施設で、一般の方の利用を目的とするもの。	32・33

循環型社会	環境への負荷を減らすため、自然界から採取する資源をできる限り少なくし、それを有効活用することによって廃棄されるものを最小限に抑制する社会。	20・21
新型コロナウイルス感染症	令和2(2020)年当初より世界的に急速に拡大した新型コロナウイルスによる感染症で、国際的には COVID-19 と呼ばれている。本計画策定時においては、感染経路や治療法、後遺症などにおいて、多くの部分が明らかになっておらず、ワクチン開発などの対策が進められている。	7・25 33・35 43・47
森林経営計画	森林法に基づく5年を1期とする計画で、森林所有者または森林経営の委託を受けた人が経営を行う一体的でまとまりのある森林を対象として、森林施業や保護について作成するもの。	38
森林経営信託	個人の財産管理などで運用されている信託制度を森林において適用するもの。本町においては、本町が所有する森林の一部の所有権を可茂森林組合に移転し、経営を全面的に任せることで計画的に施業を進めている。	38
Society5.0	狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く新たな社会を目指すもので、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。	7

た行

用語	解説	ページ
タウンプロモーション	地域住民の地元への愛着を高めるとともに、地域の売り込みや自治体の知名度の向上を図ること。	36・37
多面的機能支払交付金	水路や農道など、農業を支える共用の設備を維持管理するための地域の共同作業に対し支払われる交付金。	18
地域営農組織	集落などの地域単位で農家が各自の農地を持ちより、共同で農機具を所有したり農作業を行ったりする組織。	38
地域学校協働活動	幅広い地域住民や企業等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。	22
地域経営	行政に限らず多様な主体が連携し、地域を総合的に経営していくという考え方。	14
地縁組織	一定の区域に住所を有する人の地縁に基づいて形成された団体で、自治会などを指す。	9

地産地消	地元で生産されたものを地元で消費すること。消費者の安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組として期待されている。	38
地方創生	少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の一極集中を是正し、地域において住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある社会の維持を目指すもの。	7
地方分権改革	国と地方公共団体の関係を見直し、それぞれが対等な立場で対話のできる新たなパートナーシップの関係へ転換することを目指し、住民に身近な行政は地方公共団体が自主的、総合的に広く担い、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことができるようにするための改革。	9
町民憲章	町民が町の理想像や快適な社会生活を過ごす上での努力目標を掲げるもの。	9
低炭素社会	二酸化炭素の排出量が低い水準に抑えられた社会。	13
都市公園	本計画においては、本町が都市計画法に基づき設置している公園及び緑地。	46
特化係数	地域内の特定の産業の相対的な集積度を示すもの。ここでは、全国平均を1として本町での従業者数の集積度を示しており、1より大きいほど特化しているといえる。	39

な行

用語	解説	ページ
中山道みたけ館	郷土館、図書館、商家竹屋からなる複合施設で、名鉄御嵩駅から徒歩3分の場所に位置する。文化財や資料の収集・保管・調査研究をするとともに、広く一般公開を行う郷土の歴史に関する学習活動の拠点。	21・25 45
南海トラフ巨大地震	静岡県から九州地方にかけての太平洋側でのプレート境界に当たる南海トラフ沿いが震源域と考えられている巨大地震で、発生が懸念されている。本町においても発生時には震度6弱の揺れが想定されている。	7
南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災対策事業	平成28(2016)年度に国の補正予算にて措置された事業で、南海トラフ巨大地震による亜炭鉱廃坑跡の大規模陥没等を予防するため、効果的・効率的な工法など検証しつつ、地盤のぜい弱性に関する調査及びこれに関する防災工事を行うもの。	40・41
南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災モデル事業	南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災対策事業の前身事業で、平成25(2013)年度に国の補正予算にて、亜炭鉱跡の予防的な防災工事としては初めて措置された。	41

認知症サポーター	認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人や家族に対して可能な範囲で手助けをする人。養成講座の受講により認知症サポーターになることができる。	28・29
----------	------------------------------------------------------------------------------	-------

は行

用語	解説	ページ
ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、その被害範囲、避難経路、避難場所等を地図上に示したものの。	26・40 41
B&G 海洋センター	ブルーシー・アンド・グリーンランド財団が競艇事業の収益金により海洋性レクリエーションや健康づくりのために整備した施設。御嵩町B & G海洋センターは、町の南部に広がる丘陵地の一角にある。	33
福祉避難所	災害発生時に障がい者や高齢者、妊産婦、乳幼児などで通常の避難所での生活が困難な人を受け入れることができる、特別の配慮がなされた避難所。	42
豚熱(CSF)	ブタ、イノシシに感染するウイルス性の疾病で、平成30(2018)年9月に県内で確認されて以降感染が拡大しており、養豚業に大きな影響を与えている。	35
ふるさと教育	地域の自然、歴史、文化、伝統行事、産業といった教育資源を活用し、学校、家庭、地域が一体となって、ふるさとに誇りを持ち心豊かでたくましい子どもを育むことを目的とした教育。	22
ふるさとみたけ応援寄附金	本町におけるふるさと納税制度の名称。ふるさと納税は日本の寄附金税制のひとつで、居住する地方自治体に納付する税の一部を寄附した自治体に事実上の納税を行うことができる制度。寄附金額に応じ、特産品などの返礼を行っている。	35
ふれあいバス	本町を運行する定時定路線型のコミュニティバスで、御嵩地区や中地区を巡回する「みたけ・なか線」と、工業団地方面を巡回する「工業団地・南山台線」を運行している。	47
ふれあい予約バス	予約があった際に運行するタクシー型の車両を利用したコミュニティバスで、「かみのごう線」と「ふしみ線」を運行している。	47
プログラミング教育	コンピュータが行う処理を命令（プログラム）するための論理的な思考力を育てるための教育。令和2(2020)年度より全国の小学校において必修化された。	23
分散型エネルギー	比較的小規模な発電装置を分散配置し、電力の供給を行うもので、太陽光発電や風力発電、燃料電池などを指す。災害などで電力ネットワークが停止した際に、一定の電源供給を行うことが期待されている。	20・45

防災リーダー	災害に対する正しい知識や技術を習得し、災害時における救援救護活動の実施のほか、地域の防災訓練や研修講師などで活躍する人材。	26・27 30・31 41
ぽっぽかん	顔戸地内に平成 20(2009)年度に開館した子育て支援センター。	29

ま行

用語	解説	ページ
みたけ暮らし	本町の移住施策の展開のひとつとして平成 27(2015)年に開設したポータルサイト。空き家バンクの物件情報や子育て情報などを発信している。	19
みたけ健康ポイント	健(検)診や健康に関する教室等の参加に応じポイントを付与し、ポイントに応じ商品を進呈することで健康増進を図る事業で、平成 30(2018)年に開始した。通称「みたポン」。	32・33
御嶽宿わいわい館	名鉄御嵩駅から東へ徒歩 1 分圏内にある観光おもてなし施設。無料の休憩所のほか、環境情報の提供や土産品の販売などを行っている。	34・35
みたけ創生!!総合戦略	まち・ひと・しごと創生法に基づき本町が策定した「地方版総合戦略」で、地方創生を効果的に進めるための総合的な戦略を示している。	8・36
みたけのええもん	本町の特色を表現したもの、こだわりの逸品などを「みたけのええもん」として認定し、付加価値をつけた特産品としてPRなどを支援していく制度。	34・35
水土里隊	町有林の森林整備を目的として平成16(2004)年に発足したボランティア団体。現在は森林整備のほか、薪や炭の生産も行っている。	19
向こう三軒両隣	自分の家の向かい側の3軒と左右の2軒の家。親しく交際する近くの家。	13
木質バイオマス	木材に由来する再生可能な資源を指し、光合成を行っている樹木を利用することで二酸化炭素の排出を抑制できる資源。	20・21

や行

用語	解説	ページ
行方不明高齢者等 SOS ネットワー ク	高齢者等が行方不明になったときに早期発見できるよう、事前に届け出ておくことで、高齢者等の生命と安全を守るネットワーク。	26
ユニバーサルデザ イン	障がいの有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、多くの人が利用しやすいように製品やサービスなどをデザインする考え方。	43
よってりゃあみた け～夢いろ街道宿 場まつり～	本町の活性化を目指して、御嶽宿を会場として例年 8 月に行っているイベント。	34

ら行

用語	解説	ページ
リニア中央新幹線	東海旅客鉄道(JR東海)による東京から大阪を結ぶ整備計画路線で、中津川市内に岐阜県新駅の建設も予定されている。時速 500km で走行する超電導磁気浮上式リニアモーターカーによる運行が予定されている。	12
ローリング方式	毎年度計画の修正や補完などを行うことで、変化する社会経済情勢に弾力的に対応し、計画と現実が大きく乖離することを防ぐ方法。	5